

2018年6月吉日

各位

日本保険・年金リスク学会
研修会担当理事 大塚・杉田・滝澤・田中・吉田

JARIP 研修会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本保険・年金リスク学会（JARIP）の研修会を下記のとおり開催しますので、各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 研修会の概要

講演題目：「ベンチャーの起業、経営、投資の行動原理」

日時：2018年6月29日（金曜日） 開始：14:00、 終了：17:00

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス 15号館 302教室

早稲田大学へのアクセスはこちらをご参考にしてください

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

早稲田大学のキャンパスマップはこちらです

<https://waseda.app.box.com/s/ctvnsi6nckz4yk9kkrch64av0od0ai9t>

講師：吉田 正順 氏

畑 加寿也 氏 (justInCase CEO)

(講演順、講師略歴は次項)

講演概要：

吉田正順氏講演

数十年前より、新規産業・ベンチャーの育成の必要性が叫ばれる中、私たちは、ベンチャーについてある一定の理解があるように思っています。ベンチャー経営やベンチャー投資は、その「private」性ゆえ、典型的な情報非対称なゲームとして捉えるべきですが、昨今のベンチャーゲームにおいては、大量の情報が流通することで、その本質が埋没し、ともすると誤った議論や判断に結びつきかねません。実際に講演者は、国が主導する歪んだベンチャー施策や、大企業で語られる珍妙なベンチャー観を見てきましたし、近年の世界的なトレンドでも理解できないことが多くあります。本講演では、ベンチャー経営者や投資家の立ち位置を、事例を交えながら整理し、そこから導き出される彼らの行動原理を再度理解することで、ベンチャーを捉え直してみたいと考えています。

畑 加寿也氏講演

私は、大学卒業後 15 年間に転職を 5 回し、現在 InsurTech 保険会社 justInCase(少額短期保険業登録予定)を創業しております。やってきたことに一貫性が全く無いように見えますが、実際には私の中ではこれらは整合的かつシームレスです。本研修会では、この整合性についてお話しさせていただきます。加えて、アクチュアリーがベンチャー設立を決心した経緯、justInCase の紹介、InsurTech の技術的な面、設立への認可申請・折衝、資本調達に係る経験についてのお話をさせていただきます。

2. 参加費

個人会員・学生会員・法人会員(3名まで) : 無料
非会員 (+法人会員の4名目から) : 5000円

3. 参加申し込み

期日:2018年6月26日(火)

学会サイトの【専用申込フォーム】より申し込みください。

【専用申込フォーム】 : <https://fs222.formasp.jp/c442/form2/>

4. 講師略歴 (講演順)

吉田正順氏

1995年東京大学大学院数理科学研究科修士課程修了。通商産業省/経済産業省にてITやバイオの産業育成等を担当した後、独立系ベンチャーキャピタルでバイオベンチャー投資を行う。投資先でもあり、自身が代表取締役を務めた再生医療ベンチャーが国内大手化学グループに買収される等、設立・育成に関わったベンチャーの過半は、M&AやIPO等の出口に至る。2017年4月から1年弱、保険持株会社で経営企画を経験。

畑 加寿也氏 (justInCase CEO)

2004年京都大学理学部卒業。Millimanで保険数理に関するコンサルティングに従事後、国内外の投資銀行や再保険会社から、商品開発・リスク管理・ALM等のサービスを保険会社向けに提供。日本アクチュアリー会正会員。米国アクチュアリー会準会員。

5. 共催 早稲田大学 大学院会計研究科、産業経営研究所